

清華大学との会議を終えて

ここからはゼミ生 18 人の感想や反省が述べられています。今回の会議に参加できなかった西岡君、信岡さんは本当に残念です。論文作成から本番を迎えるまでそれぞれ努力し苦労を味わったと思います。でも、その会議が終わった後、ゼミ生みんな得たものが確かにあると思います。その発表が終わった後の 18 人の率直な感想が述べられています。

この感想が今後の会議の参考になることを願っています。

(今回はできるだけ感想や反省がリアルなものになるよう、口語体でも載せてあります。また、パート順ではなく、名前順にしました。)

青柳 美香 (水資源パート)

夏から清華とのインゼミまで、大学時代で一番必死にやったなあ、と思える時間を過ごせたと思います。そのかいあってか我が水資源パートは慶応側で二位になることができ、本当に嬉しかったです。さて、私は皆さん知っての通り英語ははっきりいって苦手です…。発表は何度も練習し、何とか合格点かな?とと思っているのですが?、質問への返答、コミュニケーションなど、痛いほど自分の英語力のなさを感じました。そして英語でやることで、要点を簡潔に、適確に伝える難しさも感じました。さらに清華の学生の発表はレベルが高く、インゼミでの率直な感想は、というと自分の情けなさを実感した、ということだったりするのですが…、同時にこれからもっと英語や色々なことを頑張らねば!とやる気がわいてきました。(と言いつつ帰って早速風邪で寝込んでみたり…^^;北京は寒かったです@) 本当に山口ゼミに入れて、みんなと会えて、インゼミを無事終えることができよかったと思いました。本当によかったよかった~♪であります!特に水パの人々!!本当にみんなと一緒にパートでよかったです!!ありがとう!!^0^ 最後になりましたがお世話になった方々、本当にありがとうございました。

足利 聖子 (水資源パート、清華大学との連絡係)

論文作成や発表について、パートのみんなに本当にお世話になりました。11月に入ってから、「まだストラクチャーができてない」といって集まっていたころは本当に大変でしたけれども、こうして何とか(いろんな人に助けて頂いて)発表が終わり、論文ができてしまくと、やってよかったなとしみじみ思います。分かりやすい発表がなかなかできず、いろんな人に意見を頂けたことは自分にとってよい経験となりました。

地球環境問題という、自分たちと同じ問題意識を持ち、かつ中国というまったく違う社会的な環境の中にいる学生とこうした場を持てたことは、非常に興味深い経験となりました。清華大学の学生と拙い英語ながらも交流できたのも、よい思い出です。英語の能力がなさすぎて、なかなか伝わらないこともありましたが、伝わったときは本当にうれしく、

その中では日本という国を外から認識するようなことも多々ありました。ただ、英語の重要性を痛感もしました。また、水資源パートとしては、中国旅行中に、盧溝橋の下の永定河の断流をみたり、北京と上海を結ぶ列車の車窓からの景色で南に行くにつれ水が多くなることをみたり、自分たちのとりあげた地球環境問題を目のあたりにできたのは、自分にとってやはり大事な経験となりました。最後に発表にあたって助けて頂いた方々、本当にありがとうございました。そして、沈さん、本当にありがとう。

池田 洋一（温暖化パート）

清華大学の発表を通して得たものは、やればなんとかなるという自信。この一言に尽きます。苦手とする英語を使って、相手に自分の考えを伝えることが果たしてできるのだろうか、山口ゼミに入ってからずっと不安でした。しかし、発表後に自分が担当するところに質問された時、はじめて自分の英語が通じていたのだと実感することが出来ました。質問されたときは回答することに必死でしたが、振り返ってみれば、あの瞬間が自分に自信がついた瞬間でした。やればなんとかなるという自信は、これからずっと自分を支えることになるに違いありません。無意識に手前に引いてしまう自分自身の限界を乗り越えるためには、過去に限界を乗り越えたという実績と、限界を乗り越える機会が必要なのだと私は思います。このような点において、清華大学での発表は自分の人生を変えたといっても過言ではありません。最後になりましたが、温暖化パートの皆さん、お疲れ様でした。あの苦勞を何年後かに笑えあえたら最高です。そして冊子の編集を担当した黒崎さん、ありがとうございました。そして何よりもこのような貴重な機会を与えてくださった山口先生に感謝します。本当にありがとうございました。

岩崎 友彦（温暖化パート、旅行係）

始めは原子力をやりたかったのですが、残念ながら健ちゃんのせいで温暖化パートになってしまいました。しかし、中国の発表まで色々ありましたが、結果的に満足のいく発表もでき、それまでの何日間にもわたる池邸勉強合宿（！？）も楽しむことができたと思います。発表が終わってこの様に思えるのも仲間のおかげであり、この場をかりてパートの皆に感謝したいと思います。池には、勉強合宿できる環境を提供してくれたことに感謝です！モミには、論文の構成・作成やってもらったことに感謝です！宮崎さんには、男だけのグループの中で我慢してがんばってくれたことに感謝です！パート長のヒロには、論文・パワーポイントの仕上げをいつもやってくれ、パートとしての要所を常に締めてくれたことに感謝です！そして、結果的に私がこのグループに入ることを可能にしてくれた健ちゃんにも感謝です！

あと最後に、中国での発表・旅行を含めてこの2年間自分にとって充実したゼミ生活を過ごすことができたのもゼミの皆のおかげであると思っており、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく！

川戸 博之 (温暖化パート、会計係)

真剣な話、今年は22年間生きてきて一番勉強した一年だったんじゃないかと思う。しかもただ知識を詰め込むだけじゃなくて、「自分達で考える」という方法で。恐らくみんながそうだったんじゃないかと思うんだけど・・・。

もちろん、それはこの清華大学でのシンポジウムに向けて準備をして来たからなんだけど、いや、本当に今更ながら、本当に色々な考え方や性格をしているおもしろい奴らがこの山口光恒研究会にいるんだという事を実感しました。だからこそ楽しく、自分達でも満足のいく事をやり遂げられたんじゃないかなーと思う今日この頃です。

中国での出来事はどれをとってもいい経験にもなったし、大学生活最高の思い出にもなったと思う。正直、中国という外国の大学生との交流がこんなにも自分にとって大きな刺激になるとは思わなかったし、中国という国にここまで惹かれると思わなかった。このような機会を設けて下さった先生を始め、ウェイ教授、先輩方には本当に感謝しています。そしてこの清華大学とのシンポジウムがこれからも山口研究会の大きなイベントのひとつとして、これからも後輩達にも引き継がれていってほしいと思います。

工藤 洋平 (水資源パート)

感想を率直に言うと、今年中国合宿に参加する事ができて本当に良かったです。では何が良かったのか。それは、就職活動の前に英語でのプレゼンテーションや中国の学生との交流といった経験をする事ができたこと、そして11日間に渡って4年生の方々や他の3年生と同じ時間を共有する事ができたことです。英語は今後必ず必要となる言語であり、その英語での発表を経験したことは大きな自信となっています。また中国の学生の発表や彼らとの交流は非常に刺激的なものでした。またゼミでは異なる学年の方とは1年間しか過ごせません。その限られた時間の中でパートの研究を通じて4年生の方々と交流し、その集大成としての中国合宿と一緒に経験することができ、大変嬉しく思っています。このような企画を育ててこられた山口先生への感謝はもちろん、特に御世話になった心紀さん・沈陽さんを始めとして参加された皆さんにも本当に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にお世話になりました。さて、まだ来年も中国合宿があります。来年は今年得た様々な教訓を踏まえて、発表・交流・旅行と全ての面においてより充実した合宿を過したいですし、そうできるように頑張ります。

黒崎 美穂 (新エネルギーパート、廃棄物パート)

清華大学とのインゼミは私にとってとても貴重な経験となりました。2つのパートを掛け持ったことで、つらいという気持ちもありましたが、やり遂げた達成感は何物にも変えがたいです。私だけが味わえた苦しみ、そして自信と感動がありました。2つのパートに属したことで、新エネの紗知、ねもっち、そして北京にいる心紀には本当に迷惑をかけてしまいました。ごめんなさい。でも、この発表に向けてみんなと費やした時間は一生忘れ

ることがないでしょう。エネパとしてスタートし自動車も勉強して、やっと新エネにたどり着いたのが10月初め。それから発表まで2ヶ月にも満たない期間で何とか発表できる論文が書けたのも、2人のおかげです。ありがとう。また、北京と東京という距離があったにもかかわらず、メールだけで論文もパワポも完成させた廃棄物パートは奇跡です。今、冷静に振り返ると、こんなにも勉強をし、自分で考えるということをしたのは初めてです。1年分くらいのひどい風邪をひいたのもしょうがないかな、とも思います。英語で発表をしたこの経験は今後の自分の支えとなるに違いありません。また、清華大学の優秀な学生に会えたこと、中国の発展ぶりを今この時期に見られたことは、負けず嫌いの私にさらなるやる気を起こさせました。

最後にこのような貴重な機会を与えてくださった山口先生、Wei教授、先輩方に御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。そして、山口ゼミのみんなととても楽しい時間を過ごせて、私はとても幸せです。謝謝！

沈 陽（原子力パート、清華大学との連絡係、デジカメ係）

今年の清華大学は2回目の参加となりました。両国の学生は互いに受けた刺激が大きかっただろうが、去年より相手のことを知っているようにも感じました。それは、両国の交流が盛んになり、互いに意識し始めているためではないかと嬉しく思います。また、去年もそうでしたが、今年も清華大学の学生の真面目さに感動をし、学生のあるべき姿と程遠い自分を恥じざるをえません。そして、何人かが今回のシンポジウムと旅行によって中国のことを好きになったと言ってくれたのも何より嬉しいものです。私自身は、毎年国に帰っていますが、帰る度に国の目覚ましい発展に感動をしています。それは、日本で就職するか中国に帰るか迷う種にもなっていますが。また、今回のシンポジウムは僕にとってゼミ生同士との関係も一層深まって嬉しいと思いました。今年が去年よりもう一つ良くなったと感じたことは、12月に清華大学の学生 XinFei さんを日本で迎えることができたことだと思います。そして、Xin さんに日本に来て日本に対する認識が良くなったと言ってもらえたことで日中両国の交流がきっと明るくなると確信しました。最後にその素晴らしい学生交流の機会を与えてくださった山口教授と Wei 教授にお礼を申し上げたいと思います。

瀬川 晋（原子力パート）

僕は今回、初めて中国を訪れ、初めて異国の学生とディベートをするという貴重な体験を通し、いろいろな刺激を受け、とても充実した日々を過ごしました。僕は前々から中国の歴史や文化に興味を持っていたのですが、実際に中国を訪れたことで、中国に対する興味はさらに増し、再び中国を訪れたいと思っています。北京と上海の発展具合は僕の想像をはるかに越えていて、中国は今後どのように発展していくのか、特に興味が湧きました。清華大学の学生は、とても研究熱心で、それ故、発表内容もレベルの高いもので、環境問題に対する意識の高さに驚きました。それぞれ国の事情は異なるけれども、環境問題に対

しお互い深い問題意識を持っているということから、交流を深められたことは今回のインゼミの何よりも大きな収穫でした。来年、また清華大学とインゼミを行えるということで、この一年間研究を熱心にするにはもちろんですが、今度はもっと様々なことを清華大学の学生と、できれば中国語で語り合いたく思います。とにかく、とても楽しくて充実したインゼミでした。来年は今回以上に収穫のあるインゼミにしたいと思います。

中西 心紀（廃棄物パート、旅行係）

私は現在、对外経済貿易大学（北京市朝陽区）に留学している。今回のインゼミ、慶應・清華環境学生会議の参加が留学先からの参加ということで特別な思いがあった。

まず論文作成にあたって、黒崎さん（呼び名でない。MIHO）とは日本と中国という離れた環境で作業をすすめるをえなかった。ここ北京では鼓舞してくれる仲間はいないし、相談する相手もない。時折挫折そうになりながら、MIHO の応援でなんとか完成させた。

留学する私と組むということで、「火の中の栗を拾う」ことが分かっていた廃棄物パートを進んで引き受けてくれた彼女には本当に感謝している。ありがとう。

廃棄物パートの論文の内容として、基本的に昨年度の流れを踏襲した。流れは中国の廃棄物問題の現状、政策の問題点を指摘し、その後、その処方箋として日本の EPR 政策を紹介するというものである。去年と同じ流れしたのも「EPR」という優れた政策を中国の未来を担う優秀な清華の学生に認識してもらうことに意義があると思ったからだ。

今回、北京市朝陽区にある中日友好環境保護センターに通いながら、中国や北京の廃棄物問題に関する様々な資料を手に入れることができた。通常中国の資料は手に入れにくいですが、それを論文に生かしたことは、留学先からの参加という面で利点があったといえる。

清華の学生たちは本当に優秀で自分たちが恥ずかしく感じるほどであったが、彼らの発表を聞き、交流できたことは自分を含め、慶應の全ての学生にとって財産になったと思う。

最後にインゼミ、北京、上海旅行を通じていっしょに過ごしたゼミの仲間とこのような機会を与えて下さった山口光恒教授、韋志洪教授に感謝の意を表します。謝謝、大家！！

新妻 健（原子力パート、ビデオ係）

日々バイタリティー溢れる生活を送ることの大切さ、これが清華とのインゼミ及び北京・上海観光で学んだことです。夜遅くまで図書館で勉強し、質問も活発に行う精華の学生や、飛行機の出発が遅れることに対して航空業社に我先にと猛然と抗議をする中国の人々（例が悪いかな・・・まーいや！）と触れ合うことで率直に感じました。このような貴重な機会を設けて頂き、山口先生はじめOBの方々には感謝の気持ちで一杯です。そして沈陽と心紀、Thanks！5期の皆、Special Thanks！！皆がいたからあんなに楽しかったんだよね、ほんと謝謝！！西岡と洋子のチーム N がいたらもっと最高だったんだけどなー。でも、山口ゼミ、そして5期生万歳！！吉川さん、芹さん、それから6期の3人もほんとありがとうございました！めちゃめちゃ楽しかった！！

西岡 直保 (原子力パート)

清華大学とのインゼミには残念ながら参加できませんでした。先生や原子力パートのみんなをはじめ、新代表の廣江さんや他の人たちにも大変な迷惑をかけてしまい、この場を借りてお詫びさせていただきます。研究に関しては、原子力パートの日本語版の論文を書いている途中の段階まで参加していました。研究を通じて、資料を読んで、ただそれを鵜呑みにするのではなく、本当に正しいことは何かを自分で見極める力が(少しだけ)ついたような気がします。

中国に行けなかったのは非常に残念でしたが、みんなから貴重なお土産や、土産話を聞いたので満足しています。本当にありがとう。

西村 直樹 (水資源パート)

「中国は行ったことないけん楽しみ。でも、英語で発表なんか出来るわけないやん！」と思っているうちに清華での発表が終わっていた。人間やれば出来るもんだ。いや、こんなやつを仲間に入れてくれて、どうにか出来るレベルにしてくれた水パのみんなと先生に感謝！！です。まじで。そして、その後の観光は清華の発表までに苦しんだ分を取り戻して、おつりがたんまりくるほどに楽しいことばかり！一日一日が知らないことばかりで、昨日何をしたか忘れてしまうほどだった。(日記つけててほんとに良かった。)沈陽の家族を含めた皆さんに、感謝・感激・雨霰です。

以下、旅行中につけていた日記の最終部分

12月1日 26:00 今日までで実質的な旅行は終わり。明日の今ごろは既に日本に帰国済。これまでの日記を読み返しても、自分がどれほど楽しかったかが本当に良く分かる。今の自分は本当に恵まれた環境にいるんだなあ。「すばらしい仲間とすばらしい旅行が出来て、本当に良かった。」この言葉に偽りなし！

みんな、ほんとにありがとね。

根本 隆史 (新エネルギーパート)

まず海外にて英語で討論するという貴重な機会を設けていただいた山口先生にお礼を言いたい。発表と論文作成はどちらも最終的には英語となるので勉強は熾烈を極めるがこの上ない経験となる。間違いなく学生時代最大のイベントであったと思う。また先輩、同輩、後輩に恵まれたおかげでインゼミだけでなくその後の観光も満喫できた。特に中国に同伴していただき最後まで発表の手助けをして下さった芹川・吉川両先輩やガイド役の沈・中西両氏には道中を通じて大変お世話になった。深謝したい。総じた結果今では大の中国好き。中国万歳である♪

廣江 りつ (水資源パート、責任者)

発表前は不安だらけの水パートでしたが、おわってみれば予想以上のできばえでした。

正直論文をもう一度書くことになって、もう発表なんて無理じゃないかと思ったりもしたけど、今思えば大変だった分だけ、そのあとの達成感とか自信になる部分も大きくなったんじゃないかなと思います。これはパート全員の頑張りと、そして何よりもたくさんの方々のお助けのおかげです。お世話になった先生方や先輩のみなさん、本当にありがとうございました！

それと今回のインゼミではいきなり責任者をする事になり、私がそんな重要な役をすることは私自身(そしてきっと山口ゼミのみんなも)インゼミ前からとても不安でした。結局たいしたことはできていないけれど、こんな頼りない責任者が何とか無事に終わることができたのは、やっぱり皆さんのおかげでした。

なんだか本当にあっという間の中国でしたが、中国の滞在とその準備の過程で、清華大学の学生の人たちと交流できたこと、発表に向けて本当に頑張ったこと、そして中国をいっぱい楽しめたこと(これは本当にしんさんと心紀のおかげです。ありがとう!)、全部が一生忘れられない経験です!本当に、山口ゼミでよかったです!

宮崎 容子 (温暖化パート)

何度も「ありえない!」と思いました。今年、清華大学とのインゼミに参加することが決まった時、温暖化パートが男ばかりチームだと聞いた時、次回の発表は英語でと言われた時.....それでもやってみると何とかなるものですね。

先輩たちの足を引っ張りたくなくて、どうにかついていこうと思ったら疲れている暇なんてありませんでした。また、中間発表や論文の締め切りに追われて、とりあえず目の前の課題をこなすことに必死になって、正直な話、気が付いたら中国まで来てしまっていた、というところもありました。

今回はついていくだけで精一杯な部分も多かったのですが、幸運なことに私にはまた来年がありますので、今度は中心となっていけるようにがんばりたいです。今年の経験を活かして少し余裕を持って参加できたらいいな、と思います。

井の中の蛙の私たちに広い世界を垣間見る貴重なチャンスを与えてくださった山口先生、ウェイ先生、気持ちよく仲間に入れてくださった先輩方、本当にありがとうございました。

粕山 智則 (温暖化パート)

清華大学でのインゼミを終わって感想を一言と言われたら、やっぱり「疲れた~」です。中国に行く前の一ヶ月間ぐらいはほとんど自宅(横浜)に帰らず、学校とバイト先と自宅(新宿の池田邸)を往復する毎日でした。おかげで「ゴ~~~~~ル!!!」という川平さんの叫び声が耳から離れません。

その苦勞あってか、インゼミを終わって充実感溢れてますな。がんばってよかった。清華大学の人のレベルの高さや、みすえている目標の高さ、そして普通に道で通り過ぎたり、バスの中で見たりする中国の人々のバイタリティ(なんか目がキラキラしていた)には驚

かされたけど、少し悔しくもあった。日本人（自分代表）ももっとがんばらなくちゃね～と痛烈に思った次第。負けてなるものか…という闘志がふつつつと湧いてくような気も。

やっぱり中国での清華大学とのインゼミは、そこまでに至る数ヶ月間の過程も含めて、自分の考え方や価値観を変えてくれるほど本当に貴重な経験でした。温暖化パートの皆さんいろいろ迷惑かけてすみませんでした…。こんなに貴重な経験を共有できた山口ゼミのみんな、そして誰よりも山口先生に感謝しています。

いや～山口ゼミ入ってよかったな～（本音）

吉田 紗知 （新エネルギーパート）

すごくいい経験になりました。夢にまで出てくるほど新エネのことを考え続けたことも、英語がネイティブではない人と議論したことも…。もう無理だと思うことも何回もありましたが、先生のおっしゃるとおり、そんな段階を乗り越えてきたことは自分の自信になっています！そして、勉強すればするほど新エネに愛着が湧いてきて、今では風車などを見るとうれしくなってきました。

それにしても、清華大学の人はみんな優秀で勤勉でした。自分の勉強しなさ、無知さが恥ずかしかったです。中国の大学生と接したことは、すごくいい刺激だったと思います。それと同時に、このままではすぐに日本は中国に抜かされてしまうな、と切実に思いました。

清華大学とのインゼミを終えて、山口ゼミでやってきて本当に良かったと思いました。

